

平成21年9月3日

平成21年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第10回 9月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門(山本)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

前回より増加し、前年および平年と同じ程度の出現量となった。

前年	平成20年9月1日	(6点の平均)	10.7 個
前回	平成21年8月20日	(17点の平均)	1.7 個
今回	平成21年8月4日	(7点の平均)	11.0 個

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

前回より増加したが、昨年および平年と比べて少なかった。

前年	平成20年9月1日	(6点の平均)	12.2 尾
前回	平成21年8月20日	(17点の平均)	0.0 尾
今回	平成21年8月4日	(7点の平均)	0.3 尾

○プランクトン調査

全定点で珪藻が優占し、餌として重要であるカイアシ類は少なかった。

今年度のカタクチイワシ卵稚仔調査は今回で終了です。

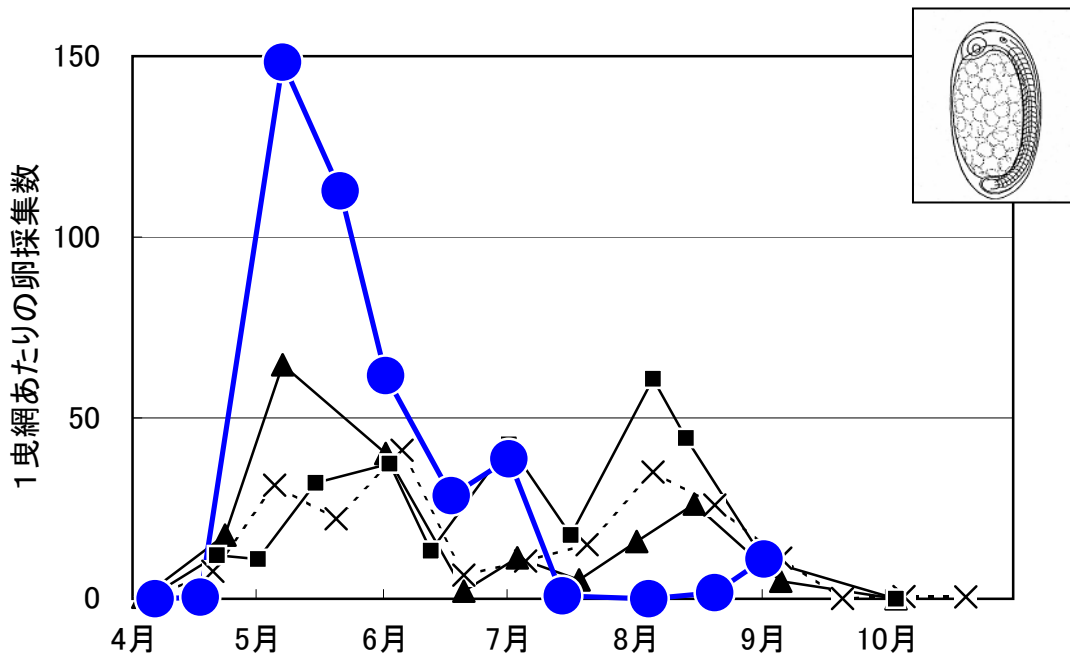
カタクチイワシ卵稚仔採集状況(9.1)



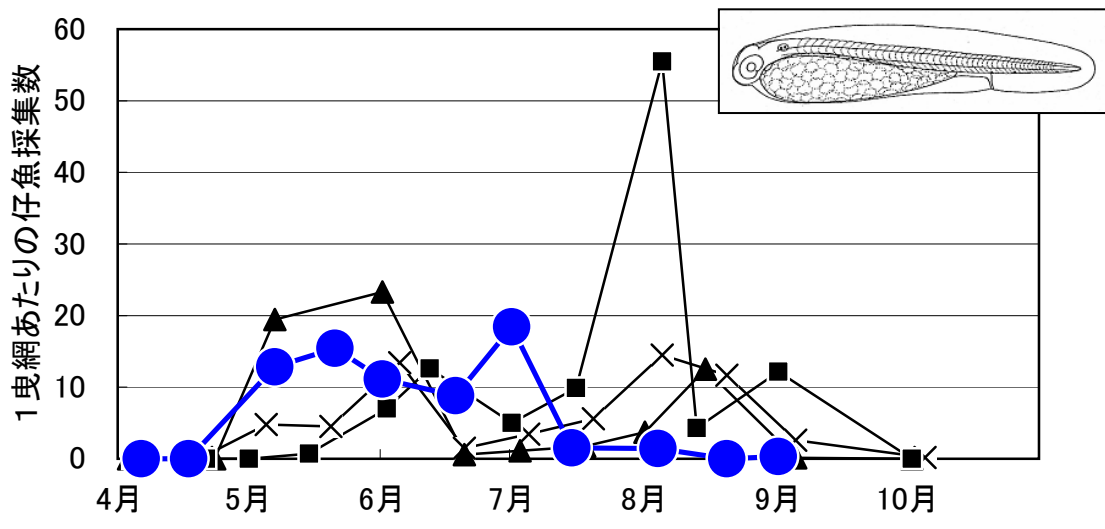
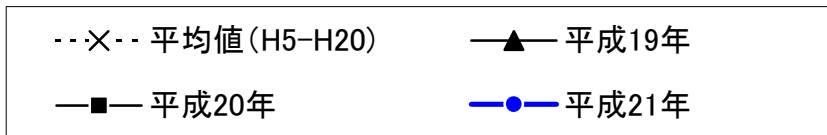
凡例

●の上側がカタクチイワシ卵数,
下側がカタクチイワシ稚仔魚を
示す。いずれも1曳網当たりの数

21 ← 卵数
●
5 ← 稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況



燧灘におけるカタクチイワシの仔魚出現状況

